

1 | 計画の概要

各冊子の説明

基本的にいずれの冊子も、誰でも手に取りその内容を知ることができますが、各冊子の策定にあたっては利用者と利用場面を、それぞれ下記のように想定しています。



地区計画編 とは

■ 想定利用者：地域住民

■ 想定利用場面

- ・各家庭内の家族会議
- ・公民館主催の会議（常会や役員会など）
- ・各種団体の会議

■ 補足説明

日々の地区活動の方向性を決めるために活用できるよう基本構想部分についても掲載しています。全世帯に1冊ずつ配布しています。



行政計画編 とは

■ 想定利用者：行政職員・議員

■ 想定利用場面

- ・庁内 / 予算策定や事業評価、業務引継ぎの場面
- ・庁外 / 議会や地域住民、関係団体との対話の場面

■ 補足説明

施策の進捗率を図るマネジメントツールとして、また、施策実施に至るまでのコミュニケーションツールとしての役割があります。専門用語も書かれており地域住民の方が読み辛い面もあります。行政職員は住民の方に対して、丁寧に説明することが求められます。庁内と各地区公民館に配布設置しており、全住民がいつでも見ることができます。



行政のしごと とは

■ 想定利用者：地域住民

■ 想定利用場面

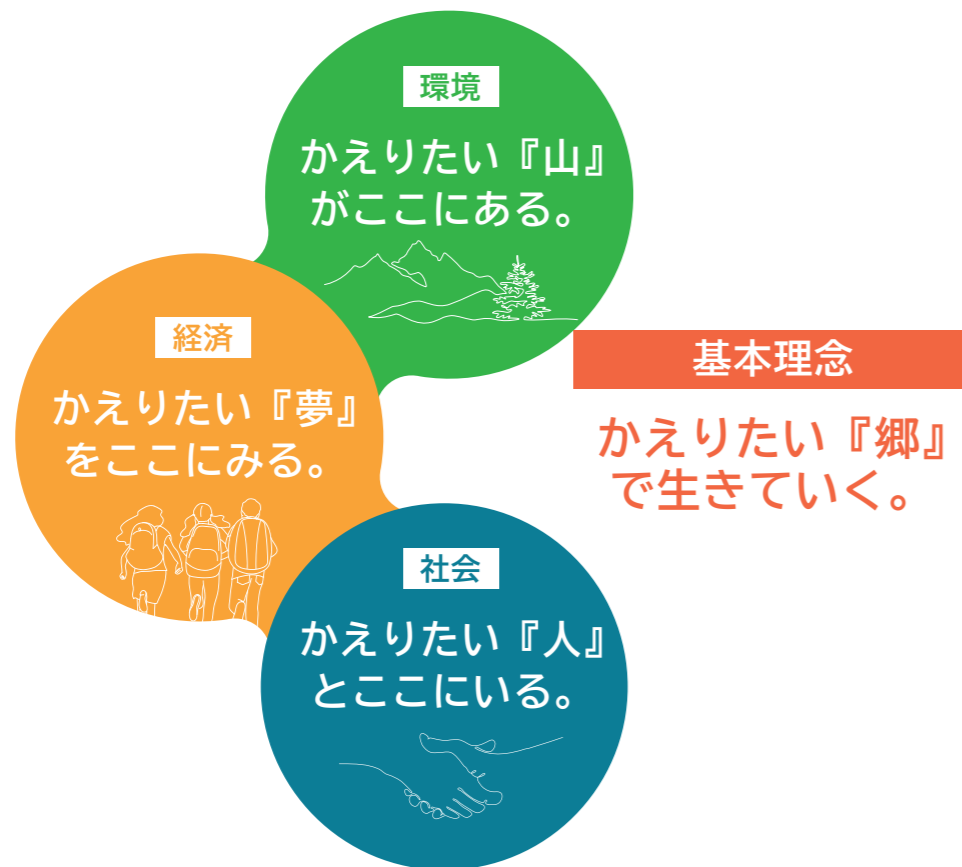
- ・住民の皆さんが、椎葉村行政の仕事について知りたいと思った時
- ・利用できる公共サービスを知りたい時

■ 補足説明

これまで「椎葉村のしごと」として毎年、全世帯に配布していた冊子です。今後は「行政のしごと」として、椎葉村行政の仕事の中でも特に住民の皆さんの日々の暮らしに直接関わるような内容について案内していきます。行政計画や業務内容についてより詳しく知りたい方は行政職員に直接聞くか「行政計画編」を読むことで情報を得ることができます。

2 基本構想

2 | 基本構想



基本理念：かえりたい『郷』で生きていく。

本村の村づくりにおいて、あらゆる場面で尊重されるべき根本的な考え方や姿勢が「基本理念」です。この基本理念は、現住民だけでなく村のことを知る全世界の人々が「かえりたい」と思うような真に豊かな暮らしのある理想の「郷」を住民みんなでつくっていかうという思いが込められています。そして、理想の「郷」の姿について、環境・経済・社会の3分野から表現したものが以下の3つです。

環境：かえりたい『山』がここにある。

「山」とは、椎葉村の自然環境全体を指しています。人も動物も植物も「かえりたい」と思えるような豊かな自然を、住民みんなで次世代に受け継いでいる様子を表現しています。

経済：かえりたい『夢』をここにみる。

「夢」とは、椎葉という小さな経済圏から仕事を通して社会に貢献したいと心に描いた希望のことです。村民だけでなく村外にいる本村と関わりのある全ての人々が応援したくなるような夢のあるビジネスを、住民が創りだしていく様子を表現しています。

社会：かえりたい『人』とここにいる。

「人」とは、本村に暮らす全住民、そして村外にいる本村と関わりのある全ての人々のことを指します。年齢や居住地、性別、その他一切の違いを受け入れ合い、多様な人たちが「かえりたい」「繋がりたい」と思えるようなコミュニティを「かて〜り」という相互扶助の精神に基づいて住民みんなで作っている様子を表現しています。

SDGs を活かした総合計画づくり

SDGs の3つの視点でつくった基本構想

SDGs では、「環境」「社会」「経済」という3つの視点でものごとを捉えることを大切にしています。また、3つの視点はお互いに関わり合っていて、「パートナーシップ」によってそれらをつなげることも重要です。今回の基本構想においても「環境」「社会」「経済」の3つの視点で未来像を設定し、また全体をつなげる一貫した姿勢として「基本理念」を設定しました。

